

iii 勝連漁協における漁獲量

勝連村漁協における漁獲量については、昭和43年～昭和47年の5年間について調査し図-12に示した。それによると漁獲量は、昭和43年最高の31.7トンで昭和46年最低の20.8トンであった。昭和43年から昭和46年までは漁獲量は減少傾向を示した。昭和47年には漁獲量は増加し28.8トンであった。

月別変動はかなり激しく、0.5～3.4トンの間を変動して月別の傾向は全くみられない。

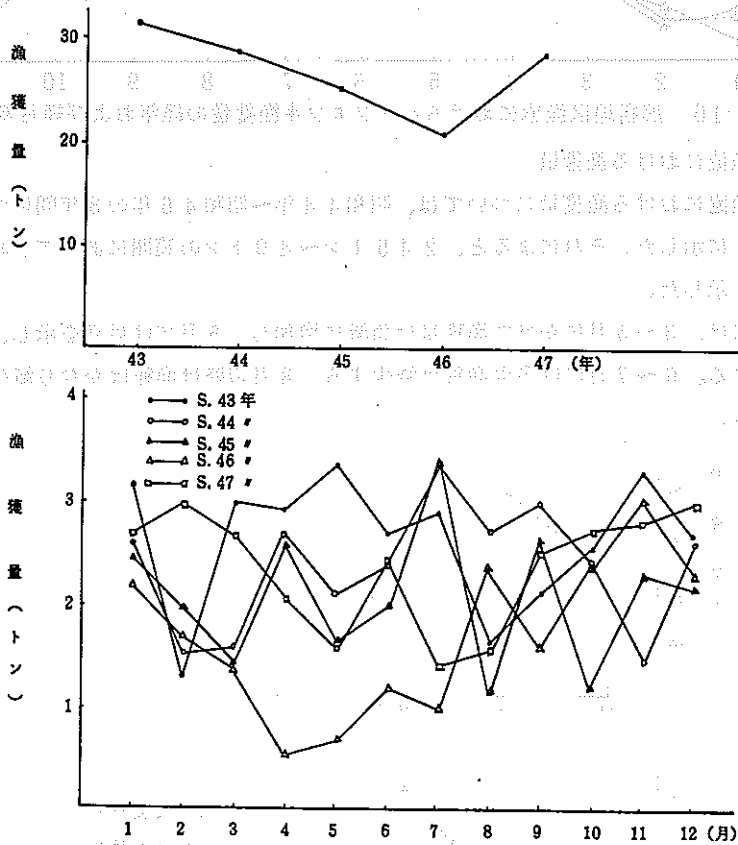


図-12 勝連村漁協におけるハマフェフィ漁獲量の経年変化および経月変化

9 標識放流

標識放流については、底延縄漁獲試験によって漁獲した漁獲物について実施した。底延縄漁具による漁獲試験では多量に漁獲することが困難であるためわずか24尾を放流するに終った。そのうちわけは、昭和48年1月29日3尾、体長27.5～40.0cm、3月8日16尾、体長22.5～42.0cm、3月22日5尾、体長29.0～39.0cmである。標識方法は、背鰭前部筋肉部に20番エナメル銅線で貫通して、プラスチック（直径8mm～10mm円型）で止めた。放流位置は図-13に示した。